



オーガストオフィシャルハンドブック
2007年秋号

FORTUNE ARTERIAL

— フォーチュン アテリアル —

AUGUST

P R E F A C E — まえがき

こんにちは、オーガストです。この冊子をお手に取っていただき、誠にありがとうございます。

何冊かお読みいただいている皆様、いつもご愛顧いただきありがとうございます。初めての方、はじめまして。私たちのこと、そして私たちの作品をより知っていただくため、イベントでこういった小冊子を無料配布したりしております。今後ともよろしくお願ひ致します。

さて先日2007年9月22日に、前作『夜明け前より瑠璃色な』のPC版発売から2周年を迎えました。そして、ソフトにはユーザー登録葉書を毎作同梱しておりますが、その「料金受取人払」の期限がちょうど2年（郵便局の規定で、最長で2年と決められています）。

それに合わせるように、9月中旬から下旬にかけて、ユーザー登録葉書が何枚も届きました。

アンケートは、一通一通、開発スタッフが拝見しております。いろいろなご意見を直接いただくことができる貴重な機会なので、本当にありがたいことだと思っています。もちろん、つい最近ご登録いただいた方も、登録されてから長い方も、私たちにとってはどちらも大切な一人のユーザー様です。ただ、これまでに葉書をお送りいただいた2万人近い方、それとまだ葉書をお送りいただいている更に多くの皆様に、支えられているのだという思いは忘れないようにしたいと考えています。

先日、保管している葉書の重みに棚の板が歪みました。まだまだ新しい棚はありますので、どしどし葉書をお送り頂ければ幸いです。

それでは、多少のお時間を拝借致しますが、オフィシャルハンドブックをお楽しみいただければと思います。

2007年秋 オーガスト/ARIA 拝

CONTENTS

- 3 『夜明け前より瑠璃色な』ショートストーリー
『ラスト・ステップ』
- 7 新作ソフト
『FORTUNE ARTERIAL』キャラクター紹介
- 14 スタッフ対談
- 15 あとがき



ラスト・ステップ

安西秀明

「そんなこと、言つたって、難しい、んだぞ」
達哉さんは踊りながら答えた。

「達哉君、そういう時は男性がリードするの
だよ」

「なあ、仁さんが、代わって、下さい、よひ」
「代わってしまつていいのかな？」

「……いや」

「んー？」

「……踊り、ます」

「ははは、そつしたまえ

「ふふふ」

隣で、さやかさんが口を押さえながら笑つた。

——皆さん、楽しそうだ。

歓迎パーティーもこんな感じだつたと思つ。

あの時も、姫さまとわたしをとても明るく迎
えてくださつた。

まるで陽気なお祭りにきたみたい。
壁に掛かつた大きな紙を見る。

音楽に乗せて軽快に刻まれる、姫さまの足音。
ぎこちないリズムを刻む、達哉さんの足音。
月の王宮でのパーティーで踊られる代表的な
ダンス。

姫さまは本当に優雅だ。
思わず見とれてしまつ。

達哉さんは姫さまについていくのが精一杯み
たいだった。

それでも、すごいと感つ。

わたしにはとても踊れない。
「ほら達哉、しつかりー！」

お別れのパーティー。
でも、どうしてこんなに明るく振舞えるのだ
らう。

明るければ明るいだけ、寂しい気持ちになつ
てしまつ。

夜明け前より瑠璃色な

音楽が、止んだ。
拍手がおこる。
姫さまがスカートを抓んで一礼した。
達哉さんが肩で息をしていた。

「達哉、へた」

「ははは、リースちゃんは容赦ないな」
「お兄ちゃんも頑張った……と思つよ?」

達哉さんは答えられない。
息を整えるのに必死みたいだった。

「次はミアちゃんの番だな」

左門さんが笑顔でわたしに言つ。
どきん、と心臓が悲鳴を上げた。

慌てて立ち上がり、今まで姫さまたちが
踊っていた場所へ小走りで向かう。

「頑張つてね」

すれ違う時に姫さまが声をかけてくださつた。
「レーティースアンドジェントルメインツ、次
はミアちゃんによる月の歌だ!」

仁さんの紹介でさうに緊張してしまつ。

「で、では歌います」

月の歌。

母さまがよくわたしに歌つてくれた歌だ。

「——とおくはなれた、ふるせとの——」

とても懐かしい月の世界。

もうすぐわたしは帰るんだ。

『フィーナさん&ミアちゃん、さよならパー
ティー』

書かれた文字が目に入った。

お別れ。

突然、目頭が熱くなる。

涙が溢れるのを止められない。

「——おもい、で、に、うう、う……」

それ以上、歌うことができなかつた。

◆『月』—地球往還船、出航準備に入ります

枕の染みが広がつていいく。

明日には、わたしはこの部屋にいない。

最後のお別れの時。

どんな顔をすればいいのかな。

皆さまに心配をおかけしてはいけないと思つ。

だから。

笑顔でいよう。

そう思つた。

枕には、わたしの涙の染みができていた。

ベッドに座つたまま、部屋を見渡す。

木の匂いのする屋根裏。

もうこの場所に戻ることもないのかな。

自分の物のように使つていた枕をぎゅっと抱

きしめる。

機械の音みたいなアナウンスが往還船の中に響く。

じつしても皆さんの顔をまともに見ることができなかつた。

姫さまがお別れの挨拶をされている時も、黙つたままだつた。

涙が溢れないようにするのに精一杯だつたから。

今窓の外を見れば、お世話になつた人たちが見えるだろう。

きつと笑顔で見送つてくれてさつた。

挨拶をしなくてはいけない。

お礼の気持ちを伝えないといけない。

そう思つてゐるのに。

夜明け前より瑠璃色な

A few goads before him, and beneath his helmet, small white wings recognized the name of the white knight.
The battle must be fought, and the knight must be born. Let the people see his glory.

どうしても、顔を上げることができない。

往還船のシートを見つめる。

この星に来た時と同じ座り心地。

あの時は『なんてふわふわな椅子なんだろう』

と感心してしまった。

そつとシートの端に触れる。

指先で縫い目をなぞつた。

「……ニア」

透き通るような姫さまの声。

びくり、と指先が止まる。

「皆様にきちんとご挨拶なさい」

優しく諭すように仰つた。

「……は」

それでも顔を上げることができない。

そんなわたしに、姫さまは優しい笑顔で言つた。

「最後のお別れなのよ」

——最後のお別れ。

体が熱くなつた。

ずっと我慢していた気持ちが押さえきれない。

口から言葉が溢れ出てしまつ。

「……わたしほ」

自分の声じやないみたいに震えていた。

頭も体も足も、熱い。

「麻衣さんと、もっとお料理したかったです

……」

頬に熱い物が流れる。

「さやかさんにお弁当を作ったかつた」
手の甲に涙がぽたぼたこぼれ落ちる。
「達哉さんともう一度、散歩に行きたかつたつ」

勝手に溢れてしまつ。

「もつと、皆さんと……一緒に、いたかつた

……ですっ」

「……そうね」

姫さまにこんなことを言つのは筋違ひなのに。
わかっているのに止まりない。

胸の奥が痛い。

「なんで、皆さん、笑顔、なん……ですか」

今まで一緒にいた時間が――

地球での思い出が――

頭の中をぐるぐると回り続けて。

「どうしても、お顔、見れ、なく……」

嗚咽で言葉にならない。

スカートをぎゅっと握った自分の手が、涙で

ばやけて見える。

肩の震えが止まらない。

後から後から涙が溢れてくる。

びしょびしょになつた手の上に、姫さまの手

が重ねられた。

姫さまの手が汚れてしまつと思つた。

思わず引こうとした手を、姫さまがぎゅっと

握る。

「ねえ、ニア」



夜明け前より瑠璃色な

A few goeth before him, and hereon up his Heavenward road, all who goeth righteously recompensed the world with light and wisdom.

The hills smile, the rivers sing, the birds sing, the flowers rejoice, the trees rejoice, the whole earth rejoices.

姫さまの優しく落ち着いた声。

「ミアは地球に来てよかつたと思える?」

小さく肯く。

「私もよ」

姫さまは微笑む。

じつしてそんな表情ができるんだね。

「本当に毎日が楽しかったわ」

幸せそうな笑顔。

「それは、なぜかしら?」

「……皆さん、いてくれたから、だと思い
ます」

わたしたちを家族として迎えてくれた人たち。
姫さまが肯く。

「私は地球での生活を決して忘れないわ」

「わたしも、です」

「さやかや達哉たちに出逢つたこと、は……」

姫さまの言葉が、何故か途切れる。

「別々になつても絶対に消えないわ。だから」
わたしの手に重ねられた手から、震えが伝わ
る。

「今は、楽しく過ごした日々のお礼をしなく
ては」

姫さまは、自分に言い聞かせるように言った。

——泣きたいのは姫さまも同じなんだ。

わたしと同じように胸が痛いのに。
わたしと同様に胸が痛いのに。

姫さまは我慢している。

もしかして、皆さんも我慢してたのかな。

わたしは顔を上げた。

たぶん涙でぐじゅぐじゅになつている顔を。
窓の外を見る。

皆さんのが手を振つてゐるのが見えた。
笑いながら——

涙を流してくれていた。

姫まとわたしがいなくなることを悲しんで
くれていた。

——出逢つたことは消えないから。

出逢えてよかつた。

わたしの頬にまた涙が流れる。

でも、そんなことは構わなかつた。

——楽しく過ごした日々のお礼をしよう。

わたしは精一杯微笑んだ。

泣きながら微笑んだ。

家族してくれて、ありがとうございました。

声は届かないけれど。

想いはきっと届くと思う。

姫まと一人で、手を振つた。

——わたしは決して忘れません。

——この瑠璃色の星で逢つた人たちのことを。

END

FORTUNE ARTERIAL

— フォーチュン アテリアル —

キャラクター紹介 with
4コマ漫画

ここからは、発売を間近に控えた新作ソフト「FORTUNE ARTERIAL」の紹介ページになります。キャラクターの主要なイベントCGとともに、脳みそホエホエ氏による4コマ漫画を掲載しました。春に配布された小冊子の頃よりももう少し突っ込んだ内容となっております。これまでの紹介とはまた異なり、キャラクターの意外な一面が見えるかもしれません。全5ページ、お楽しみ頂ければ幸いです。

オーガスト最新作

「FORTUNE ARTERIAL」

冬頃発売予定です。

絶対可憐スマイル



5年生で学院の生徒会副会長。いつも前向きかつ行動力に溢れ、その端麗な容姿と優秀な成績、明るい性格により学院でもっとも人気のある女子生徒。生徒会長である兄の伊織らとともに学院のイベントや行事を運営し、学院の生徒たちがより楽しく過ごせるよう日々奮闘している。実はれっきとした吸血鬼。この事実を知ってしまったことから、主人公の学院生活に大きな変化があとずれる。

千堂 瑛里華

せんどう
えりか

誕生日:6月7日／血液型:B型／身長:159.8cm／82C-55-83



「寝る前に、兄さまから電話があることが多いので」

主人公のひとつ後輩にあたる、4年生。シスター天池を補佐する「ローレル・リング」に所属しており、放課後は学院の本敷地にある礼拝堂にてボランティア活動に従事している。礼拝堂で飼っている白ウサギ“雪丸”的世話を白の仕事である。生徒会財務の東儀征一郎を兄にもち、その厳格な教育と庇護のもとで育ったせいで、大変礼儀正しく控えめな少女に育った。和菓子(特にきんつば)が好物であり、かつ、こだわりがある。

東儀 白

とうぎ
しろ

引っかかる方がどうかしてるわ



興味のあることにしか労力を割かず、教室でもいつも一人で過ごしている。もっとも本人はそれを気にしている様子は全くなく、主人公が話しかけても、必要最低限の返事で済まされてしまう。欠席や早退もしばしばで、昨年同じクラスであった瑛里華はなんとか桐葉の生活態度を正そうと頑張ったが、無駄だった。意外に物知りで、困ったときに相談をもちかけるとの確な回答をもらえることがある。

紅瀬 桐葉

くぜ
きりは

誕生日:11月21日／血液型:AB型／身長:164.4cm／88D・57・86

風紀委員



主人公の幼馴染。ひとつ先輩の6年生で、生徒が暮らす白鳳寮の寮長を務めている。その他にも風紀委員長など多数の役職を兼任し、校内のあらゆる場所に出没する。いつもハイテンションかつマイペースで、それなりに付き合いがないと彼女の行動は予測不能。一説には、その行動を把握できるのは妹の陽菜だけらしい。部屋の位置が主人公の部屋の真上のため、ベランダの非常はしごを伝って闖入してくることもしばしば。妹の陽菜を溺愛しており、「ひなちゃん(かなで専用の陽菜の呼称)はわたしのヨメ!」と公言してはばからない。

ゆうき かなで 悠木 かなで

やりがい



姉のかなでと同じく、主人公の幼馴染。明るく世話好きな気配りやさん。交友関係も広い。美化委員に所属しており、放課後はよく廊下や中庭などで活動している様子を見かける。委員会内でも後輩先輩を問わず慕われているようで、地味ながら人気者と言える。姉の突飛な行動のとばっちりを受けることもしばしばだが、本人は割とそれを楽しんでいるようで、後始末をしながらも苦笑していることが多い。

悠木 阳菜

ゆうき
はるな

誕生日: 10月4日 / 血液型: A型 / 身長: 155.9cm / 84C・56・85

for Windows 2000/XP/Vista

FORTUNE ARTERIAL

—フォーチュンアテリアル—

前作『夜明け前より瑠璃色な』の発売から2年が過ぎ、新作ソフト『FORTUNE ARTERIAL』の開発も

ようやくゴールが視界に入るところまで進んでまいりました。

開発期間2年という数字だけを見れば間違いなく難産ですが、

それだけの作品、キャラクターたちに育ってきつつあります。

ホームページでも舞台紹介やショートストーリーなどが公開されておりますので、こちらも是非ご覧下さい。

全寮制の学園を舞台にした新作ソフト『FORTUNE ARTERIAL』は、冬頃発売予定。

正式な発売日も、まもなく公開の予定です。

どうぞよろしくお願い致します。

作品公式HP

<http://august-soft.com/fa/>

冬頃発売予定



べつかんこう(以下ベ):開発も山場ですが対談のお時間です。

神原拓(以下神):もうそろそろ発売日も発表できそうですね。

ベ:ええ。長らくお待たせしました。

神:では、まずは漫画版の連載についてがな。

ベ:今回はお二人の作家さんに描いていただいてますね。

神:G'sマガジンに連載している佐々木あかねさんの漫画は、キャラが立ってるのが素敵だと思っています。それぞれの魅力を引き出されている感じで。

ベ:他キャラの話でてくる瑛里華とかなでも可愛いですよ。全体的に、キャラの表情が豊かなのがよいです。やっぱり表情って重要な一と思いました。

神:そうですね。そしてもう一方、児玉樹さんの漫画は第一話が10月10日発売のコンフティーグから連載スタートです。

ベ:この冊子が配布されるトドロの頃にはもう出ていますね。児玉さんの漫画は、ほんわかしているのが好きなんです。

神:第一話のネームを拝見しましたが、ゲームの雰囲気もよく出てると思いました。こちらのストーリーは、ゲーム本編に沿って展開していくことになる予定です。

ベ:キャラクターが楽しそうなので、読んでるだけで幸せになれますよね。今回は二人の作家さんに書いてもらっていますが、それ、その持ち味が出てて、毎回楽しみにさせてもらっています。

神:では、前回途中についたキャラについての話をしましょうか。

ベ:桐葉からでしたつけ。桐葉といえば、辛いもの?

神:ええ。ところで辛味は、他の味覚と違って痛覚なんだそうです。

ベ:なるほど。豆知識ですね。……イベントCGで桐葉が本を読んでいますが、あれは何の本なんでしょうか。太宰とか芥川とか?

神:どつこも自殺してますね(笑)。太宰は好きかも知れません。ロシア文学とかミステリーも怪しいところです。

ベ:かなでは、HPで公開してるサンブルボイスの唄が面白すぎです。それなりに♪

神:それなりに♪

ベ:あの節回しは声優さんのアドリブなんですか?

神:そうです。「それなりにいい感じにお願いします」と。……ところで、かなでさんといえば夏コミセットの紙袋に使われた水着絵は、案外胸があると評判でした。

ベ:バツが入ってるんですよ。

神:衝撃の事実!

ベ:嘘なんですかね。まああんなものだと思います。

神:嘘で良かつた……。夢を壊すようなこと言うの禁止。

ベ:すみません。最後は陽菜の話をしましょう。

神:陽菜って名前についてなんですが、後から調べたら「廿の子の人気の名前」で上位に入つてびっくりしました。

ベ:はるな、っていう読み方も一般的みたいですね。

神:なんとベネッセ調べだと2005年2006年と連続で1位。明治安田生命調べても1位。ものすごくメジャーな名前をつたという。

ベ:あ、菜月が96位(笑)

神:でも、全体的には瑛里華とか桐葉とか、新作のキャラの名前はややコツい気もします。

ベ:そうですね。でも、コツくないかなでの名前は、文章中にあると混話するときがあります。

神:平仮名はしようがないですよ。そのうち「かなで」という文字列に目が反応するようになりますから。

ベ:なるほど。

神:つるつるの木魚、叩くかなてるか。

ベ:かなてる。

神:ナメクジかなでんてん虫かな?

ベ:かなでん。

神:鍛えられたかい?

ベ:うむ。かなでん。

神:……さて。制作に戻りましょうか。

2007.10.4 23:50 社内にて



POSTSCRIPT - あとがき

オフィシャルハンドブックをお読みいただき、ありがとうございました。お楽しみいただけましたでしょうか。

今回は『夜明け前より瑠璃色な』のSSもあります。プレイ済みの方には、楽しんでお読みいただけたかと思います。(未プレイで、SSを読んで興味を持ったという方は、本編もプレイしていただければ幸いです)

さて、新作『FORTUNE ARTERIAL』の開発が佳境にさしかかってきました。この冊子は2007年秋に開催される東京と大阪のドリバで無料配布される予定ですが、そろそろ発売日も発表できそうです。(この冊子を入稿する時点ではまだ発表前です)

今回は、ここまで辿り着くのにかなりの時間を必要としてしまいました。ソフト完成後の反省会で詳細な要因については検討することになりますが、今の段階で考えると、時間を費やす最も大きな要因は「企画」パートにあるように思われます。シナリオや原画など個々のパートであれば、ある程度予定も立ちますし、最低限クリアすべきハードルも見えてきます。しかし、企画はそうもいきません。数多く企画を立てればいいというものでもありませんし、新鮮なだけでも、押さえるべきツボを押さえただけでも企画としてはもの足りません。

ここまで練ればOKというラインもありません。

そんな中で、悩んで悩んで悩み抜いた中から生まれた企画が『FORTUNE ARTERIAL』です。

それだけのものにはなりそうなので、楽しみにお待ちいただければと思います。

猛暑と言われた夏も終わり、最近急に涼しくなってきました。私たちももちろんですが、皆様も体調を崩したりしないようご自愛下さい。

それでは、今回はこの辺で。
今後とも、オーガスト/ARIAをよろしくお願い致します。

2007年秋 オーガスト/ARIAスタッフ一同



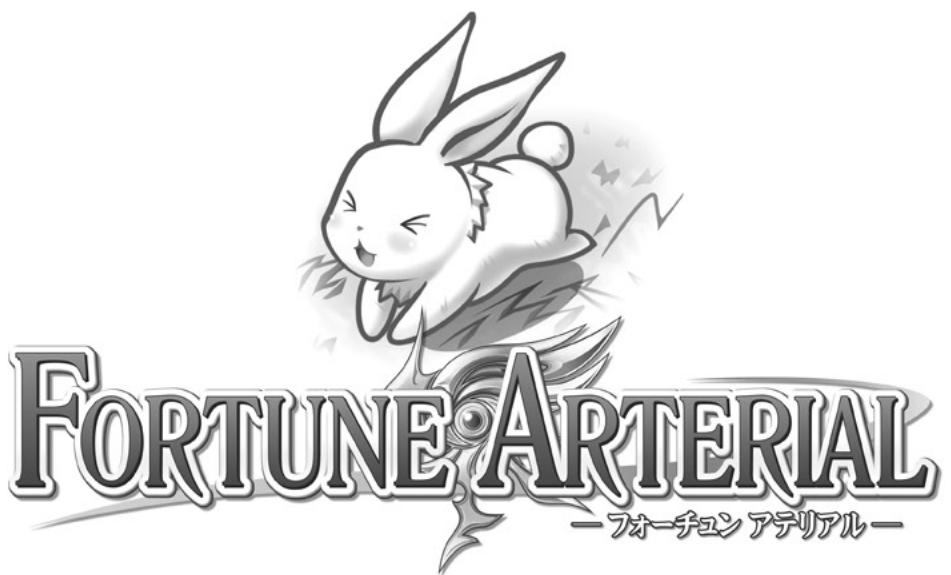
オーガストオフィシャルハンドブック 2007年秋号

最新情報満載!
オフィシャルホームページにぜひお越し下さい!

<http://august-soft.com/>

※禁無断転載・無断複製

FORTUNE ARTERIAL
—フォーチュンアテリアル—
冬頃発売予定



オーガストオフィシャルハンドブック
2007年秋号



(C)AUGUST All Rights Reserved.